

競技注意事項

1 競技規則について

競技は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会規定により実施する。

2 練習について

- (1) 練習は、サブトラックを使用し係員の指示に従い練習すること。ただし、投てき練習は禁止する。
* 芝生内は立ち入り禁止とする。
フィールド競技の練習は、本競技場内で役員の指示により行う。
- (2) サブトラックの「レーン」の使用区分は、下記の通りとする。
 - ア) 周回1～2レーン：中・長距離、競歩
 - イ) 周回3～4レーン：短距離
 - ウ) 周回5～6レーン：400mH
 - エ) 砂場助走路：短距離、100mH、110mH

3 招集について

- (1) 招集所は、Dゲート付近に設ける。
- (2) 各種目の1次招集終了時刻、最終招集時刻は、プログラムの競技日程欄を参照すること。
- (3) 招集の手順
 - ア) 1次招集終了時刻までに招集所に掲示するエントリーリストに○印をつける。
 - イ) 最終招集時刻にトラック競技は各種目のスタート付近（4×100mは各走者のリレーゾーン付近）、フィールド競技は各種目の待機場所において点呼を行う。
その際、アスリートビブス（ナンバーカード）・スパイク等の点検を受け、腰ナンバーカードを受け取る。
 - ウ) 代理人による点呼は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多項目同時出場届（招集所備え付け）を提出し、併せて招集に来ることが出来ない種目の点呼（アスリートビブス・腰ナンバーカード・スパイク等の点検）を受けておくこと。
 - エ) 最終招集に遅れた競技者は、棄権とみなす。

4 競技について

- (1) レーン、試技順はプログラム記載順とする。
- (2) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定において、最終枠に同記録がある時は、0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。
- (3) 下記の種目はタイムレース決勝で行う。
男女とも 800m、1500m、4×400m
- (4) 男女5000m、男子10000m、男子5000mWはグループスタートで実施する。また、密接回避のため2列でスタートする。
- (5) 男女5000m、10000m、5000mWは別ナンバーカードを使用する。レース終了後にナンバーカード係に返却すること。
- (6) リレーオーダー用紙の提出について
 - ・提出場所：競技者係（招集所）
 - ・予選：第1組の最終招集時刻の2時間前～1時間前まで
 - ・決勝：変更の有無にかかわらず、最終招集時刻の1時間前～30分前まで* リレーオーダー用紙はプログラム巻末または競技者係（招集所）備え付けの所定の用紙を使用すること。
- (7) 競技場内での練習は、必ず競技役員の指示に従って行うこと。
- (8) 長距離種目及び競歩種目については気象状況を考慮して給水を実施する。
- (9) 下記の種目は競技運営の都合により、下記の時間を超えて次の周回に入らず競技を打ち切る。
（男子）10000m：33分 5000mW：25分 （女子）10000m：42分 5000mW：30分
- (10) フィールド競技については計測ラインを設ける。
- (11) 三段跳の踏切板は、砂場から男子13m、女子10mの地点に設置する。

- (12) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、優勝が決まるまで次のとおりとする。
ただし、気象状況により変更する場合がある。

走高跳	男子	練習 1m85	1m90-95-98-2m01-04	以後、優勝が決まるまで 3 cmずつ上げる
	女子	練習 1m50	1m55-60-63-66-69-72	
棒高跳	男子	練習 3m60~4m80	3m80-90-4m00-10-20	以後、優勝が決まるまで 10 cmずつ上げる
	女子	練習 3m00/3m50/4m00	3m10-20-30-40-50	

* 第1位が同成績の場合の順位決定は、走高跳では2cm、棒高跳では5cmの幅でバーを上げ下げする。

5 競技用具について

- 競技に使用する用器具は、棒高跳用ポール以外は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。練習用としても個人のもを競技場内へ持ち込むことはできない。
- 投てき用具の検査を希望する競技者は、競技開始の2時間前に西側用器具庫（フィニッシュ側）へ持ち参り検査を受けること。ただし、出場競技者全員で共有できるものとする。
- 走高跳のマーカ―は、競技役員から受け取ったテープのみを使用すること。
- リレーのマーカ―は、各チームで準備すること。（最大5cm×40cmの粘着テープとする）

6 競技場所への移動について

入場ゲートおよび入場可能時間は以下の通りとする。

<8月9日>

100mスタート側入口

種目	区分	入場可能時間
男 棒高跳	決	9:25 ~ 9:30
女 三段跳	決	10:20 ~ 10:25
男 砲丸投	決	10:30 ~ 10:35
女 100mH	予	10:35 ~ 10:45
男 110mH	予	11:00 ~ 11:10
女 4×100m/3・4走	予	11:55 ~ 12:05
女 砲丸投	決	12:00 ~ 12:05
男 4×100m/3・4走	予	12:10 ~ 12:25
女 棒高跳	決	12:25 ~ 12:30
男 110mH	決	12:40 ~ 12:45
女 100mH	決	12:50 ~ 12:55
女 やり投	決	12:55 ~ 13:00
女 100m	予	13:00 ~ 13:20
男 三段跳	決	13:20 ~ 13:25
男 100m	予	13:25 ~ 13:40
男 やり投	決	14:25 ~ 14:30
女 100m	決	15:05 ~ 15:10
男 100m	決	15:10 ~ 15:15
女 3000mSC	決	15:20 ~ 15:25
男 3000mSC	決	15:40 ~ 15:45
女 4×100m/3・4走	決	15:55 ~ 16:05
男 4×100m/3・4走	決	16:00 ~ 16:05

フィニッシュ側入口

種目	区分	入場可能時間
女 10000m	決	9:00 ~ 9:05
男 10000m	決	9:45 ~ 9:50
女 ハンマー投	決	9:55 ~ 10:00
女 400m	予	11:15 ~ 11:25
男 ハンマー投	決	11:25 ~ 11:30
男 400m	予	11:35 ~ 11:50
女 4×100m/1・2走	予	11:55 ~ 12:05
男 4×100m/1・2走	予	12:10 ~ 12:25
女 400m	決	13:50 ~ 13:55
男 400m	決	13:55 ~ 14:00
女 1500m	決	14:05 ~ 14:30
男 1500m	決	14:40 ~ 14:55
女 4×100m/1・2走	決	15:55 ~ 16:05
男 4×100m/1・2走	決	16:00 ~ 16:05

7 抗議について

- 競技中に起きた競技者の行為、順位に関する抗議は、正式結果発表後30分以内（次のラウンドが行われる場合は15分以内）に、本人または監督から審判長にたいして口頭で申し出ること。
なお、受付は大会本部の総務員が行う。
- 審判長の裁定に不服の場合は、預託金10,000円を添えて文書で上告すること。抗議が却下された場合、預託金は返金しない。

8 表彰について

- (1) 各種目 1 位～3 位の入賞者は中央ロビーの表彰係へ賞状を受け取りに来ること。(表彰式は行わない)
- (2) 選手権種目は、優勝者に賞状と選手権章、2 位～3 位の入賞者には賞状を授与する。

9 その他

- (1) A D カードをつけていない者は、競技場およびサブトラックに立ち入ることができない。
- (2) 競技のために競技エリアに入場する場合は、別記の所定ゲートから必ず入場すること。
- (3) 競技結果および次のラウンドへの出場資格は場内アナウンスによって発表する。また、兵庫陸協の WEB にも掲載する。(掲示板への掲示は行わない)
なお、場内スクリーンに競技結果が確定表示された時点を、正式発表とする。
- (4) 貴重品の管理は、各自で責任をもって行うこと。拾得物については、競技者係で保管する。
- (5) スタンド最前列に横断幕等を設置してはならない。
- (6) 応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は大会本部の医務員に連絡すること。
競技場での疾病、傷害等の応急処置は主催者で行うが、以後の責任は一切負わない。
- (7) 記録証明書を希望する者は、庶務係に 500 円を添えて申し込むこと。
- (8) 本大会各種目の決勝において兵庫陸協登録者でトラック種目は上位 4 位まで、フィールド種目は上位 3 位までの者が近畿陸上競技選手権大会の出場資格を有する。出場を希望する者は大会要項を了承のうえ、8 月 9 日(日) 17:30 までに手続きを完了すること。

* 近畿陸上競技選手権の出場資格を得た者は競技終了後速やかに庶務係まで手続きに来ること。